

沖縄リゾートウェディング協会 新型コロナウイルス対応ガイドライン

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための約束

2020年6月（第1版）



はじめに

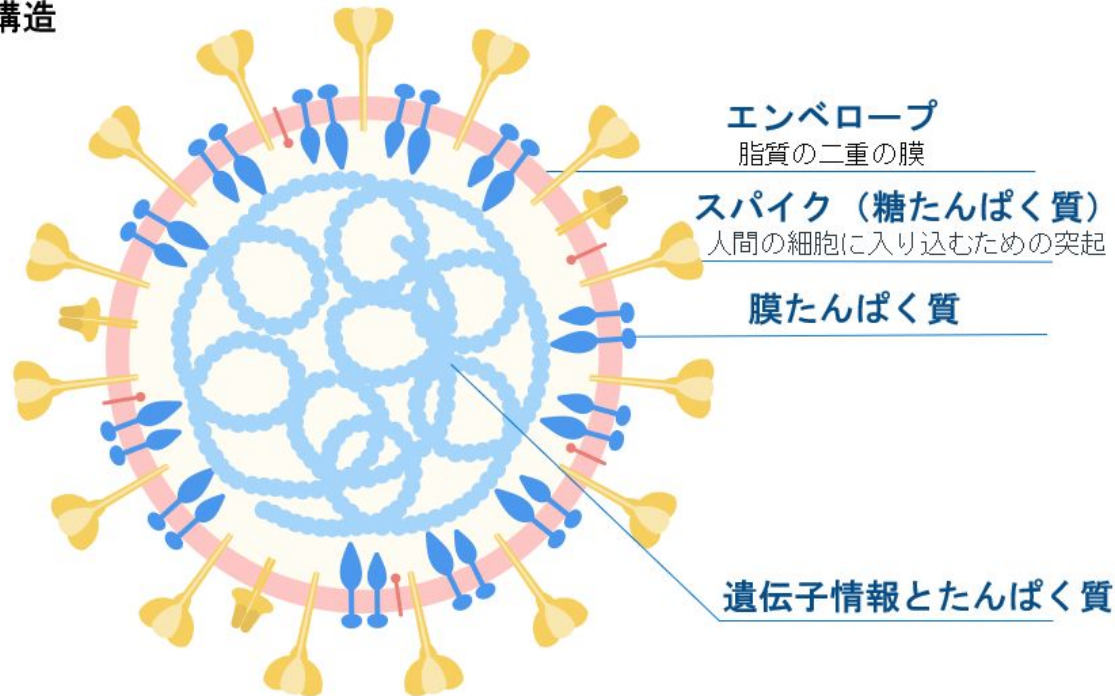
- ☑ 本ガイドラインは日本政府による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年5月25日変更版）」および沖縄県による「新型コロナウイルス感染症対策に係る実施方針」「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインの作成について」などを踏まえ、県内ウェディング業界全体で新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を取り組めるよう、わかりやすく取りまとめております。
今後の状況や国や県の取組み方針の変更に伴い、随時見直しを行いながら取り組んでまいります。
- ☑ 本ガイドラインは、沖縄で結婚式を予定している、また、将来的に結婚式を行いたいと思っているゲスト及び、県内リゾートウェディング業界で働く従業員の感染リスクの低減を図り、命を守るための取組みになります。安全で安心な沖縄リゾートウェディングで国内外から選ばれるデスティネーションになるよう、積極的な取組みへのご協力をお願いいたします。
- ☑ 沖縄リゾートウェディング協会では、ゲストの皆様や沖縄リゾートウェディング事業に関わる皆様が、新型コロナウイルスによる「新しい生活様式」の中でも安心して過ごせる沖縄であるよう、今後とも取り組んでまいります。本ガイドラインに関するお問い合わせ等に関しましては、下記事務局までお問い合わせください。

沖縄リゾートウェディング協会事務局（サンネット 株式会社）

TEL:098-860-0670 FAX:098-860-0675 E-mail:info@tabi-wedding.com

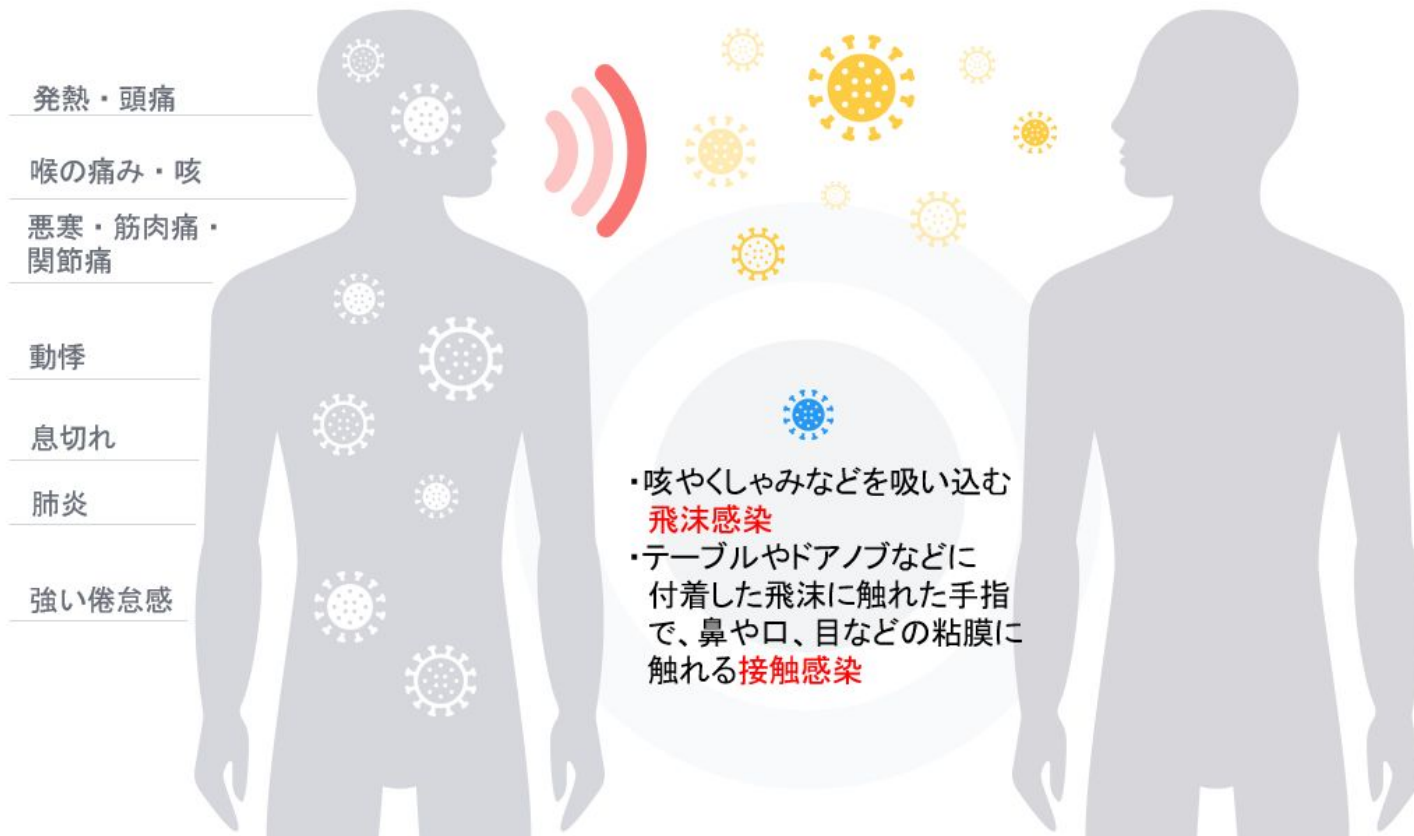
新型コロナウイルスの特徴

新型コロナウイルスの構造



コロナウイルスは風邪を起こす主な原因になるもの。今回の新型コロナウイルスは、人に感染するものとしては7つめ。1万分の1ミリの大きさで、鼻・口・のど等の表面の細胞に取り付き細胞内に侵入し、増殖を繰り返す。その毒性とヒトの抵抗力のバランスにより発症する。免疫力が弱っていると増殖が止められず症状を感じる。

新型コロナウイルスの感染の仕組みと症状



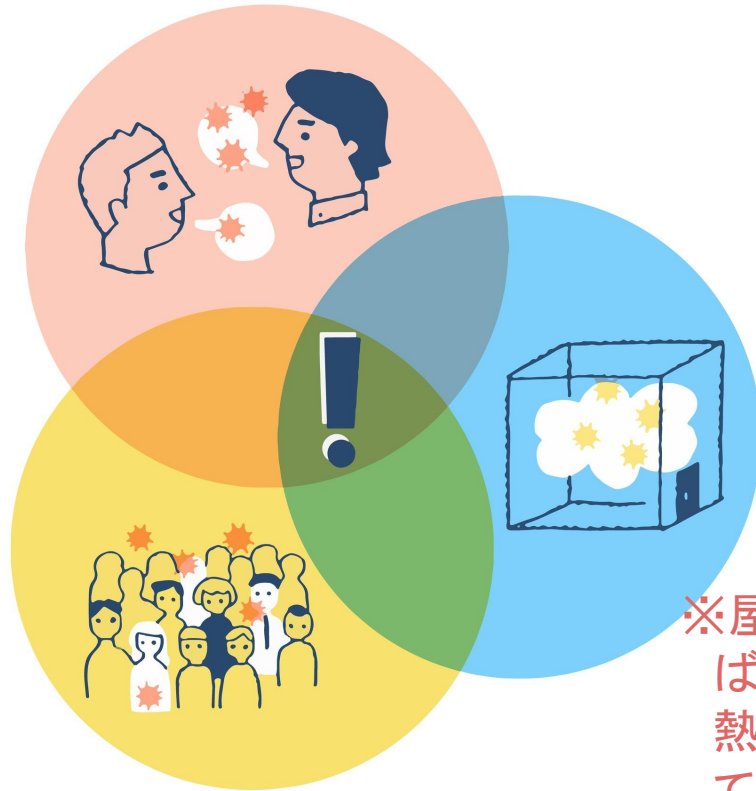
3つの密とその回避策

間近で会話や発声をする 密接場面

- ★十分な距離を取る。
1メートルから2メートル
- ★席をひとつ空けて座る
- ★対面を避ける
- ★マスクを着用する

多数が集まる密集場所

- ★十分な距離を取る。
1メートルから2メートル
- ★大声を出さない。可能な限り会話をつつしむ
- ★マスクを着用する



換気の悪い密閉空間
★窓やドアを開け、
こまめに換気をする
目安としては1時間
に1回、10分程度

※屋外で十分な間隔があればマスクは外してもよい。
熱中症など体調に留意して臨機応変に対応する

結婚式場において想定されるリスク

【接触感染】

パブリックスペース

テーブル・椅子・エレベーターのボタン・エスカレーターのリフト・トイレ等

挙式・披露宴・パーティー会場等

ドアノブ・テーブル・椅子・電源等スイッチ等

バックヤード: ドアノブ・エレベーターのボタン・お皿・グラス・シルバー等

【飛沫感染】

パブリックスペース

特定多数の参列者による混雑時の人と人との距離

挙式・披露宴・パーティー会場等

換気の状態・席次への配慮・余興内容等大きな声を出す場面の把握・入退場時の行列・混雑

※結婚式場業「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」より

結婚式の前に望まれる対応策

【打ち合わせ時】

- ★ゲストの来沖前の体調管理の呼びかけを新郎新婦に依頼し、以下の状況が確認される場合は、沖縄への渡航をご遠慮いただくよう事前にご案内する
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・発熱や風邪の症状がある場合
 - ・基礎疾患《糖尿病・腎不全、透析治療を受けている場合・免疫抑制剤で治療中・抗がん剤等を使用中・慢性肝炎(ウイルス性、さらに肝硬変)・心臓病・慢性閉塞性肺疾患》のある方、ご高齢者は、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化する可能性があるため注意が必要なことを、しっかりと説明する
 - ・万が一後日感染者が発生した場合に備え、新郎新婦を通じてゲストの連絡先の確認を行う。その際には個人情報の取り扱いには十分配慮する

結婚式の前に望まれる対応策

【打ち合わせ時】

★万が一に備えたゲストの連絡先の確認について

- ・P7に記載した「万が一後日感染者が発生した場合に備え、新郎新婦を通じてゲストの連絡先の確認を行う。その際には個人情報の取り扱いには十分配慮する」については、事前に参加者名簿（ゲストの連絡先等の記載を含む）をウェディング事業者も共有し、挙式・披露宴等実施後2週間保管することが望ましい。ただし、個人情報取り扱いへの注意が必要であることから、新郎新婦にも十分な説明を行い、ゲストへも不測の事態に備えた取組みであること、2週間経過後は名簿の破棄を行う、など理解を求める必要がある。

結婚式の前に望まれる対応策

【挙式前日・前】

- ★新郎新婦の体調を考慮し、無理な日程での打ち合わせを行わないよう配慮する
- ★受入施設における感染症対策について丁寧な説明を行い、取組みについての協力をお願いする(各企業や施設で取組んでいる内容をHPで公表しているものを表示、もしくは明記した資料をお渡しするのも有効)
- ★メイクなど直接ゲストの肌に触れる美容スタッフは、手指消毒をこまめに行い使用する道具に関しても消毒等衛生管理を徹底していることを説明する
- ★カメラマンは挙式参加者集合写真撮影時のマスクの着用の可否を事前に確認し人と人の間隔を開けた配席、立ち位置について説明、理解を求める
- ★屋外などで集合写真を撮る場合は、熱中症対策を行い、十分な距離を保ったうえで、マスクを外しての撮影も可能



感染防止対策～挙式場

- ★施設内全ての出入り口に手指用消毒液を設置する
できれば入口と出口を分けるのが望ましい
- ★入口でゲストが密にならないよう係員による誘導を行う
- ★ゲストにはマスクの着用を原則とする
- ★従業員及び関連スタッフもマスクを着用する
- ★ゲスト席は隣り合う同士が密にならないよう、ひと席分の距離をあける
- ★施設内の換気の徹底。目安としては1時間おき10分程度。換気扇と反対側の窓やドアを開ける、2方向の窓を開ける(会場の対角線上、高い所と低い所など)など、空気の通り道を作る



感染防止対策～挙式場

★聖歌隊などはゲストとの距離を十分に取り、立ち位置を後方に移動するなどの対策を図る

★披露宴前後における施設内の消毒清掃の徹底。

清掃の際にはマスク及び手袋を着用し、終了後は手洗い・うがいを徹底する

★従業員及び関連スタッフは全ての動作の前後に石けんによる手洗いを徹底する



感染防止対策～披露宴・パーティー会場

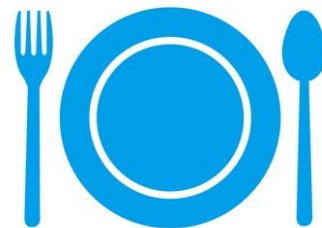
- ★施設内全ての出入りに手指用消毒液を設置する
人の流れを管理・制限できるよう、できれば入口と出口を分けるのが望ましい
- ★入口でゲストが密にならないよう係員による誘導を行う。可能であれば分散した来場計画を新郎新婦と調整する。(例:親族・職場・友人と、時間差で来場を呼びかける)
- ★ゲストにはマスクの着用を原則とする
- ★従業員及び関連スタッフもマスクを着用する
- ★来場者は宴会場収容人数の50%以内にとどめ、席の配置は十分な間隔をあけて設置する※ただし、今後の感染・防疫に関する状況の変化によりその割合は異なってくる



感染防止対策～披露宴・パーティー会場

★提供する料理は個人盛り、もしくはスタッフによる取り分けとし、大皿盛りで取り分け箸やトングを共有するのは避ける

※他都市でもパーティー会場におけるクラスター（集団発生）が発生していることから、徹底して取り組む必要がある



★お酌、グラスやおちょこ等の回し飲みをしないよう気を配る

★使用する食器類は使用前の消毒、使用後の洗浄を徹底する

★披露宴会場等におけるドアの開閉は、原則として従業員が手袋着用の上行う

★余興は大声を発する内容は控えてもらい、その他内容もステージ上が密にならない、ゲストとの距離を十分に取るなどの配慮をする

感染防止対策～披露宴・パーティー会場

- ★マイクは、使用の都度消毒を行う、もしくは差し替えて使用する。また、ハンドマイクではなく、スタンドマイクを使用し手に触れない形が望ましい
- ★お迎え、お見送りの際は、人が密集しないよう、係員による誘導を行う
- ★施設内の換気の徹底。目安としては1時間おき10分程度。換気扇と反対側の窓やドアを開ける、2方向の窓を開ける(会場の対角線上、高い所と低い所など)など、空気の通り道を作る
- ★披露宴前後における施設内の消毒清掃の徹底。その際にはマスク及び手袋を着用し、終了後は手洗い・うがいを徹底する
- ★従業員及び関連スタッフは全ての動作の前後に石けんによる手洗いを徹底する

感染防止対策～ロビー・控室

- ★新型コロナウイルスの全国的な感染状況、県内における段階を踏んだ制限などの全面解除がなされるまでは、1日あたりの受入挙式件数を制限し、入れ替えのための換気や消毒清掃などを行うための十分な時間を間に挟んで実施する
- ★テーブル・ソファ・ドアノブ・エレベーターのボタン・エスカレーターのベルトなど、不特定多数の者が触れる可能性のある箇所について定期的な消毒清掃を行う
- ★他の挙式ゲストと重なることがないように、タイムスケジュールや動線に配慮する
- ★ロビー、控室等は、3密を回避したレイアウトや換気に配慮し、利用者に対してはマスクの着用をお願いする

感染防止対策～トイレ・洗面台

- ★新型コロナウイルスに感染した人がトイレを使用する際、排泄物からウイルスを排出する可能性があることから、トイレ内での接触感染に十分に気をつけるよう周知する
- ★トイレ清掃後、除菌作業が行われたことを示すためのサインを掲示するのも有効（例：はがせる除菌済シールなどを貼る）
- ★ドアノブ・蛇口・手洗いシンク等は、定期的に消毒清掃を行う
- ★汚物を流す際は、トイレの蓋を閉めて流すように表示する
- ★トイレを使用中、不用意に目・鼻・口を触る、スマホを触るなどの行為がないように呼びかける

感染防止対策～トイレ・洗面台

- ★こまめな清掃ができない場合、シャワートイレの利用を一時停止する。
もしくは利用できる箇所を限定する
- ★石けんによる手洗いや、備え付けの手指用消毒液の使用について呼びかける
メッセージカードや掲示物を設置する
- ★ハンドドライヤーを止め、ペーパータオルを設置する



感染防止対策～バックヤード

- ★休憩時間を分散し、一度に休憩する人数を減らす。対面での食事は避け、会話などは十分な距離を取って行う
- ★休憩スペースは常時換気することに努める
- ★休憩スペースで共有する物品、設備などは、定期的に消毒する
- ★休憩スペース等を使用する場合は、入退室の前後に手洗い、手指消毒などを行う

感染防止対策～従業員への配慮

【共通事項】

- ★個人でできる健康管理の徹底(手洗い・うがいの励行、規則正しい生活など)
- ★出勤前に検温を行い、発熱などの症状があれば出勤を見合わせる。
- ★家族に感染者や感染が疑われる人がいる場合は、出勤を見合わせ、最寄りの医療機関に連絡を入れ、その指示に従う。職場には電話などで状況報告を行う。
- ★従業員及び結婚式に係わる関連スタッフは、始業前及び実務開始前の検温、体調確認を徹底し、体調不良者については直ちに上司など責任者に伝え、その指示に従う。責任者は速やかに対象従業員の担当を外し、自宅で静養させる等の措置をとる
- ★従業員及び結婚式に係わる関連スタッフは、始業前及び実務開始前に手洗いまたは手指消毒を徹底する
- ★感染リスクを低減するため、常に一定の対人距離を保つこと
- ★ユニフォームについては、こまめに洗濯を行い、清潔に保つこと

従業員が発熱した場合

★あらゆる想定の下、事業主は事前に産業医や医療専門家等に相談し、どのように対処するか検討、マニュアルの作成を行っておくことが理想。それが間に合わない場合、以下の内容で対応するよう従業員にも周知する。また、発熱があっても必ずしも新型コロナウイルスとは限らないことから、常に冷静な対処を心がける

【対象者】

- ・発熱(37.5度以上の熱)がわかった時点で上司に相談・報告。
- ・出勤前の場合は自宅待機。出勤後の場合は、休憩スペースなどに控え、家族などに連絡し速やかに帰宅する。
- ・かかりつけ医に相談。その指示に従う。直接医療機関には行かない
- ・十分に静養しながら経過観察を行い、症状が悪化した場合は医師や保健所に速やかに連絡する
- ・職場(上司)には毎日、経過報告を行う

従業員が発熱した場合

【上司等】

STEP1

★従業員の体調に留意し、正確な状況を把握するとともに、パニックにならずに冷静に以下の対応を行う

- ・出勤前であれば自宅待機指示
- ・出勤後の発症であれば家族などに連絡し、帰宅指示を出す。その間、職場内会議室や控室など、他の人と接しない環境で安静に待機してもらう。
- ・医療機関に直接行くことは避ける。事前に最寄りの相談窓口にご相談する
- ・帰宅は公共交通機関の利用を避け、十分な配慮をした上で自家用車などでの帰宅を促す※その際、迎える人は運転手一人に限り、マスク着用など感染予防対策を十分に行うよう依頼する。帰宅後の車両の消毒清掃なども注意喚起する
- ・対象職員が待機した部屋は、換気を行い、十分な消毒清掃を行う

従業員が発熱した場合

【上司等】

STEP2

★他の従業員のケア

- ・職場内における感染拡大も踏まえ、速やかに主管部門に情報共有を行う。
- ・発熱した対象従業員の同僚などがパニックにならないよう、正確な状況の共有を行うとともに、濃厚接触者としてすぐに自宅待機指示を出す
- ・自分自身も濃厚接触者の場合、同様の対処を行う

STEP3

- ・自宅待機期間中は待機従業員の日々の健康観察のチェックを行う
- ・対象従業員、濃厚接触者対象従業員が発熱・咳などの症状が出た場合、発病に係る手順の指示を行う
- ・自宅待機対象従業員(部下)との日々のコミュニケーションを図り、不安や恐怖などで心身共に不調にならないようサポートに努める
- ・発症者が責められることがないよう、周囲に理解を求め、職場として十分なケアを行う

従業員が発熱した場合

【上司等】

STEP4

★職場復帰に向けたサポート

- ・14日間の経過観察後、症状が72時間なければ職場復帰となる。その際は主治医に職場復帰の可否を判断してもらう。ただし、入院の場合は病院の指示に従う
- ・回復した従業員の要望を尊重し、職場復帰のタイミングや、当面の間業務量を減らすなどの対応を行う
- ・復帰の期日を決め、本人の同意のもとに職場や同僚に十分な説明を行い、復帰に向けた受入態勢準備への理解を求める

従業員が発熱した場合～相談窓口

症状・予防策の相談は...

沖縄県運営のコールセンター(電話番号:098-866-2129)8:30～24時間対応

感染の疑いがある場合は...

北部保健所(電話番号:0980-52-5219)

中部保健所(電話番号:098-938-9701)

南部保健所(電話番号:098-889-6591)

宮古保健所(電話番号:0980-73-5074)

八重山保健所(電話番号:0980-82-4891)

那覇市保健所(電話番号:098-853-7971)

参考情報

首相官邸HP

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/corona_news.html



日頃から近隣医療機関と密に連携を取り、専門的なアドバイスをもらえるよう関係性の構築を図る

従業員が発熱した場合

★県のコールセンター、保健所では以下の内容が確認される。日頃から検温の記録や、行動履歴を残し、正確な情報の提供に心がける

《想定される確認事項》



- ・現在の症状
熱は何度か？何日以上続いているのか？咳や倦怠感など
- ・状況の確認
症状が出る前にどんな行動をしたのか。症状が出てから出勤したか、どのくらいの人と接触があったか
- ・医療機関への相談
かかりつけ医には相談したか など

★電話や情報通信機器を用いて診療を実施する医療機関一覧

<https://www.mhlw.go.jp/content/000633807.pdf>

感染防止対策～従業員への配慮

【事業主等】

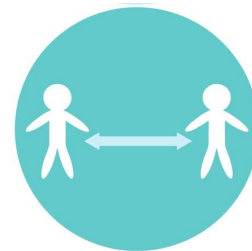
- ・従業員が新型コロナウイルスに感染した場合、感染症に対する正しい知識や理解のもと、感染した従業員個人の意思や人権を尊重し、対象者が安心して社会生活を続けながら、適切な治療に集中できる環境の整備に努める。また、日頃からこうした状況に備え、企業・職場としてどう対応するのかを明文化し、従業員に周知し、万が一の場合でも冷静な対応を求める
- ・職場や施設内で感染者が出た場合に備え、日頃から周辺医療機関との密な連携を行う環境を整える
- ・万が一職場や施設内で感染者が出た場合、事実の公表の有無、方法について事前に取り決めを行う。また、感染者の人権は徹底して守るよう従業員、関係者に事前に周知、理解を求める

感染防止対策～従業員への配慮

【事業主等】

- ・従業員が濃厚接触者となった場合は、14日間の自宅待機とすること
- ・対象の職場については、保健所の指示に従い、速やかに消毒等の措置を行う
- ・日頃から休みを取りやすい職場環境を整備し、万が一の場合に備え、必要最小限の人数でも業務を行えるようシミュレーションを行う

感染防止対策～従業員への配慮



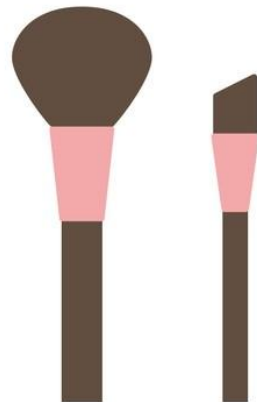
【受付・打ち合わせ担当者】

- ★対面する際には、ゲストとの距離を一定に保つ、マスクを着用するなど留意する
- ★対面する機会が多い、時間が長いなどの懸念事項がある場合は、飛沫感染のリスクを下げるために、ゲストとの間に透明な間仕切り等を設置するのも有効
- ★ゲストのリクエストに応じて、オンラインでの打ち合わせにも対応できるように環境整備を行う
- ★新規顧客に対してもオンラインでのご案内ができるよう、環境の整備、施設内紹介映像などツールの整備などを行う
- ★フェアなどのイベント開催にあたっては、日程、時間、人数を調整し、3密を回避した内容で実施する。当面は100人以下、収容会場の50%以内、来場者の連絡先を管理するなどの条件付きで実施する※ただし、状況に応じて対応は変化する

感染防止対策～従業員への配慮

【美容スタッフ】

- ★メイクなど直接ゲストの肌に触れる美容スタッフは、手洗いや手指消毒をこまめに行う
- ★使用する道具に関しては、消毒等衛生管理を徹底し、可能な限り使い捨てできるツールを利用する
- ★ゲストの要望に応じ、持ち込みのメイク用品の活用、別途予算計上し新品を使用するなど、柔軟な対応を心がける
- ★フォトウエディング等で移動する際は、新郎新婦と車両を分け密な状況にならないよう心がける。新郎新婦は新型コロナウイルス対策がなされた運転手付き車両 を手配するなど、配慮して取り組む
- ★自社の車両を使用する際は、使用前後に消毒清掃を行う



感染防止対策～従業員への配慮

【カメラマン】

- ★ゲストの集合記念写真撮影時のマスクの着用の可否を事前に確認し、人と人の間隔をあけた配席、立ち位置について説明、理解を求める
- ★大声でポーズの指示などを行わないように配慮し、マスクの着用を徹底する
※ただし、屋外や炎天下での撮影の場合は、適度な距離を取った上で体調に留意し、マスクは外しても構わない(ゲストも同様)
- ★フォトウエディング等で移動する際は、新郎新婦と車両を分け密な状況にならないよう心がける。新郎新婦は新型コロナウイルス対策がなされた運転手付き車両を手配するなど、配慮して取り組む
- ★自社の車両を使用する際は、使用前後に消毒清掃を行う



感染防止対策～従業員への配慮

【清掃担当者】

- ★清掃の際にはマスク、手袋を着用し、終了後は必ず石けんと流水による手洗い、うがいを徹底する
- ★鼻水、唾液、マスクなど、接触感染が想定されるごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってから廃棄する
- ★挙式が集中している、来場者が多い挙式・パーティーが予定されている場合は、清掃に係る人員を増加し、交代制でこまめな清掃を心がける



感染防止対策～感染症に備えた事業継続計画の策定

★今後來る第2波、第3波や、将来起こるであろう新たな感染症の脅威に備え、事業者は企業や職場で迅速な意思決定が可能な、新型コロナウイルス対策の体制を確立し、従業員やゲスト等を守る感染防止策を実施することが大切である

- (1) 新型コロナウイルス発生時の事業継続の検討・計画策定を行う
- (2) 定期的に従業員に対する教育・訓練を実施する
- (3) 事業継続計画は点検・見直しを行い、都度具体的なものにしていく

事業継続計画を基に企業や組織全体で感染症対策に取り組むことで、危機時の初動に強いより強固な企業形成につながる

参考資料(農林水産省HP)

事業継続計画書ひな形

https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/pdf/bcp_hinagata.pdf

最後に

今回の新型コロナウイルスは、近年発生した感染症と比にならない多大な影響を世界に与えている。ただ、この状況の中でも待ったなしで台風をはじめとした自然災害は発生し、国と国との摩擦は起き、人的災害や大規模事故などは発生する。

観光危機管理は、観光に特化した自治体だけが取り組むものではなく、全ての観光事業者が「危機を自分事」として捉え、その対策にしっかりと向き合い、計画を立て、マニュアルを作成することが、沖縄県における「安全・安心・快適」な観光地形成につながり、観光客の命を守り、ひいては観光産業全体を守ることになる。

観光危機管理における回復(Recovery)の基本は「Build Back Better(より良い復興)」であり、災害の前の状態に戻すのではなく、この経験を機に、今までよりもより良い形に復興することである。

沖縄リゾートウェディング協会では、沖縄リゾートウェディング事業者が今回のコロナ禍を機にその取組みを進め、未来も引き続き世界から選ばれるウェディングの聖地となるよう、今後も業界一丸となり危機管理の取組みの強化を進めていく。

本ガイドラインは、一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会が株式会社サンダーバードに依頼し作成した。

当会理事メンバーや、那覇西クリニック医師玉城研太郎氏によるアドバイスを反映し第1版が完成した。

今後の新型コロナウイルスの状況に沿った書き換えや追記等に関しては、引き続き株式会社サンダーバード監修の下、当協会が内容を精査し随時行っていくものとする。

作成元 : 一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会

作成協力: 株式会社サンダーバード

作成日 : 令和2年6月6日